令和７年度

主要な施策の成果説明書

白馬山麓事務組合

地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 233 条第 5 項の規定に基づき、令和 7 年度決算に係る主要な施策の成果説明書を次のとおり提出する。

令和８年８月

白馬山麓事務組合　　管理者　　丸　山　俊　郎

白馬山麓事務組合一般会計

（１）総括事項

【し尿処理関係】

令和７年度のくみ取り量は、白馬村 3,497 キロリットル、小谷村 1,635 キロリットル、合計 5,132 キロリットルとなり、その処理を行いました。前年度と比較すると、白馬村 382 キロリットル（12.3%）の増加、小谷村５キロリットル（△0.3%）の減少、合計では 377 キロリットル（7.9%）の増加となりました。クリーンコスモ姫川での受入れを開始してから直近のくみ取り状況を見ますと、生し尿は減少から横ばい傾向、浄化槽汚泥は徐々に増加、農業集落排水は一定量にあります。

クリーンコスモ姫川は、令和５年度から運転保守管理業務を４年間の長期継続契約として締結し、物価高騰・人件費増加等による経費増加の抑制を図るとともに、引き続き、下水道投入施設の更新を見据え、主要な機器の整備のほか、予備機など運転の切り替えにより処理に支障のない機器については、予防保全管理から事後保全管理に切り替え、施設廃止までは最小限の整備を行う方針の整備計画に従い、経費節減に努めています。

また、令和７年度のし尿等下水道投入施設整備事業は、白馬村公共下水道事業により、工事手法を設計・施工一括発注方式（性能発注方式）に変更し、契約締結方式を公募型プロポーザルにより発注した建設工事に関連する設計・施工監理支援業務を実施中です。

これに伴い、令和６年度から令和７年度への繰越事業として、公募型プロポーザルに係る発注支援業務の委託期間の延長（R6→R7 繰越）と、建設工事の詳細設計（R6→R7 繰越）を実施しました。

し尿等下水道投入施設は下水道施設の位置付けになることから、事業費は白馬村下水道事業会計で予算計上していますが、財源となる社会資本整備総合交付金と下水道事業債以外は組合から白馬村下水道事業会計へ負担金として支出しています。

【白馬高校支援関係】

寮の関係では、令和５年度から、給食業務に寮の管理業務を併せて業者へ委託する運営方法に変更し、業務の連携と経費の縮減を図っております。令和７年度当初１年生 32 名（県外生 21 名、県内生 11 名）が入寮し、寮全体 64 名（県外生 45 名、県内生 19 名）でスタートし、途中で２名が下宿へ移動しました。

全国募集活動では、オンラインによる学校説明会を活用しながら、銀座 NAGANO、大阪において、対面での募集活動を実施したほか、寮生の関西方面出身中学校 11 校へ訪問し、進路の選択肢の一つとして、案内いただくよう募集活動を実施しました。また、地域みらい留学の合同学校説明会ではオンライン・対面合同説明会を実施し延 290 組の参加者に説明を行いました。今後も、オンラインでの募集活動を併用し、効率的・効果的な募集活動を展開し、白馬山麓で学びたい生徒の募集に努めます。

公営塾の関係では、講師 4 名により基本コース・大学受験コースで個別学習を中心に運営を行いました。受講生は年間延べ 371 名（基本コース 334 名、大学受験コース 37 名）となっています。本年度は関西外国語大学、大東文化大学、帝京平成大学に合格する受講生を輩出することが出来たことから、引き続き、英検等の資格取得、定期試験対策から大学入試対策まで幅広く学習支援を継続するとともに公営塾の取り組みについて、積極的に紹介し、地元生からも選ばれる高校になるよう周知してまいります。

（２）決算概要

白馬山麓事務組合一般会計の決算状況は、歳入総額で 4 億 930 万 5,252 円、歳出総額で 3 億 9,617 万 691 円、歳入歳出差引残額は、1,313 万 4,561 円となり、翌年度へ繰越となっています。

前年度との比較では、歳入が 2,743 万 1,630 円（7.2%）の増、歳出が 4,252 万 3,639 円（12.0%）の増となりました。し尿処理事業では、し尿等下水道投入施設整備が着手となったことから施設整備に係る負担金が増加となり、白馬高校支援事業では入寮生の増員、物価等の高騰により需用費の燃料・光熱水費・賄材料費、寮管理運営委託料が増となりました。

本会計における予算の補正状況等は次のとおりです。

回数	予　算　額 (単位：千円)	議決等年月日	主　　な　　内　　容
当初予算	398,700	R7. 2.25	
1	12,077	R7. 8.28	(歳入) 分担金及び負担金・学生使用料・雑入の増、繰越金の減
			(歳出) 一般管理費の減、し尿処理費・高校支援費の増
2	0	R7.11.12	(歳出) 高校支援費の増減なし 委託料の減・補償補填及び賠償金の増
3	△17,674	R8. 2.25	(歳入) 分担金及び負担金・学生寮使用料の減、運搬投入手数料・国庫支出金・雑入の増
			(歳出) 一般管理費の増、・し尿処理費・高校支援費の減
4	△12,032	R8. 3.31	(歳入) 分担金及び負担金・公営塾使用料の減、運搬投入手数料・学生寮使用料・国庫支出金・県負担金の増
			(歳出) し尿処理費・高校支援費・公債費・予備費の減
合計	381,071		

第1表　　白馬山麓事務組合会計決算規模及び決算収支の状況

（単位：千円、％）

区分＼年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	決算額	前年度対比	決算額	前年度対比	決算額	前年度対比	決算額	前年度対比	決算額	前年度対比
歳入総額	358,241	△ 3.4	329,886	△ 7.9	331,798	0.6	381,873	15.1	409,305	7.2
歳出総額	347,835	△ 4.9	317,941	△ 8.6	328,272	3.2	353,647	7.7	396,170	12.0
歳入歳出差引額	10,406	103.4	11,945	14.8	3,526	△ 70.5	28,226	700.5	13,135	△ 53.5
翌年度へ繰越すべき財源							27,863	100.0	9,947	△ 64.3
実質収支	10,406	103.4	11,945	14.8	3,526	△ 70.5	363	△ 89.7	3,188	778.2
単年度収支	5,289		1,539		△ 8,419		△ 3,163		2,825	
積立金										
繰上償還金										
積立金取崩額										
実質単年度収支	5,289		1,539		△ 8,419		△ 3,163		2,825	

第2表

白馬山麓事務組合歳入決算の状況

（単位:千円、%）

区分＼年度	令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度		
	決算額	前年度対比	構成比	決算額	前年度対比	構成比	決算額	前年度対比	構成比	決算額	前年度対比	構成比
1．分担金及び負担金	232,175	△ 13.9	70.4	220,800	△ 4.9	66.5	267,226	21.0	70.0	233,541	△ 12.6	57.1
2．使用料及び手数料	46,539	10.5	14.1	57,091	22.7	17.2	63,617	11.4	16.7	86,098	35.3	21.0
3．国庫支出金	39,659	皆増	11.5	41,794	5.4	12.6	46,901	12.2	12.3	44,178	△ 5.8	10.8
4．県支出金										16,857	100.0	4.1
5．財産収入										73	100.0	0.0
6．繰越金	10,405	103.3	1.5	11,945	14.8	3.6	3,527	△ 70.5	0.9	28,227	700.3	6.9
7．諸収入	1,108	231.7	0.1	168	△ 84.8	0.1	602	258.3	0.2	331	△ 45.0	0.1
歳入合計	329,886	△ 10.5	100.0	331,798	0.6	100.0	381,873	15.1	100.0	409,305	7.2	100.0

第3表

白馬山麓事務組合歳出決算の状況

（単位：千円、％）

区分＼年度	令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度		
	決算額	前年度対比	構成比	決算額	前年度対比	構成比	決算額	前年度対比	構成比	決算額	前年度対比	構成比
1．議会費	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
2．総務費	24,027	11.9	7.6	18,668	△ 22.3	5.7	17,500	△ 27.2	4.9	17,143	△ 2.0	4.3
(1)一般管理費	23,975	11.9	7.5	18,613	△ 22.4	5.7	17,445	△ 27.2	4.9	17,088	△ 2.0	4.3
(2)監査委員費	52	△ 8.8	0.0	55	5.8	0.0	55	5.8	0.0	55	0.0	0.0
3．衛生費	129,988	△ 17.8	40.9	155,242	19.4	47.3	153,491	18.1	43.4	195,638	27.5	49.4
(1)し尿処理費	129,988	△ 17.8	40.9	155,242	19.4	47.3	153,491	18.1	43.4	195,638	27.5	49.4
(2)ごみ処理費	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
4．高校支援費	161,896	0.2	50.9	152,349	△ 5.9	46.4	180,643	11.6	51.1	181,946	0.7	45.9
5．公債費	2,030	0.3	0.6	2,013	△ 0.8	0.6	2,013	△ 0.8	0.6	1,443	△ 28.3	0.4
6．予備費												
歳出合計	317,941	△ 8.6	100.0	328,272	3.2	100.0	353,647	11.2	100.0	396,170	12.0	100.0

款	2. 総務費	項	1. 総務管理費 2. 監査委員費	目	1. 一般管理費 2. 監査委員費

事 業 名	一般管理事業、監査事業	決算書の頁	P. 11-12

事業内容

1. 議会活動
2. 一般管理
3. 財産管理
4. 監査

実績・成果

【実績】

1．議会活動

議会の開催状況

日　　時	会期日数	一般質問者数
R7　第2回　定例会（8月28日）	1日	1名
R8　第1回　定例会（2月25日）	1日	-

2. 一般管理

(1)地方公務員災害補償基金・職員弔慰金等	43,095円
(2)管理者交際費	35,000円
(3)消耗品・印刷製本費	93,124円
(4)口座振込手数料・ホームページ利用料等	268,356円
(5)給与システム改修委託料	44,000円
(6)電算システム・コピー機使用料	785,121円
(7)派遣職員・職員互助会等負担金	14,664,282円

3. 財産管理

(1)公会計業務委託料	1,155,000円

4. 監査

(1)定期監査　　7/23、12/1、3/25	3回
(2)決算審査　　7/23	1回
(3)財政援助団体監査　　7/23	1回
(4)報酬・長野県監査委員協議会負担金	55,000円

予 算 額（円）	決 算 額（円）	財　源　内　訳（円）			
		国県支出金	地方債	その他（繰越金／財産貸付収入等）	一般財源
17,820,000	17,142,978			452,955	16,690,023

款	3. 衛生費	項	1. 清掃費	目	1. し尿処理費

事 業 名	運転管理事業	決算書の頁	P. 11-14

事業内容

1. し尿処理施設の維持管理

実績・成果

【成果】

し尿等下水道投入施設建設に伴うクリーンコスモ姫川（し尿処理施設）の廃止を見据えて、令和5年度からは運転保守管理業務を4年間の長期継続契約により物価高騰・人件費上昇等の抑制対応を図っている。そのほかの業務も、令和3年度まで行っていた長期包括的業務委託から必要最小限の業務を個別に入札・契約する方式に切り替え、経費節減に努めている。

【実績】

報酬・手当・共済費・費用弁償等	4,164,098 円	会計年度任用職員1名分
一般工業薬品納入業務	4,391,390 円	ナルコ薬品（株）　他
光熱水費	17,252,659 円	中部電力・小谷村
運転保守管理業務委託料	33,000,000 円	住友重機械エンバイロメント（株）
測定分析業務委託料	1,188,000 円	南信環境管理センター（株）
水処理用活性炭交換再生委託料	4,260,300 円	住友重機械エンバイロメント（株）
脱臭用活性炭交換業務委託料	3,982,000 円	住友重機械エンバイロメント（株）
受入槽清掃処理業務委託料	858,000 円	南信サービス（株）
脱水汚泥し渣処理業務委託料	9,284,935 円	南信サービス（株）
コスモ用地・取水用地借上料	922,686 円	小谷村・上川徹氏
派遣職員負担金（30%）・長野県廃棄物処理技術研究協議会負担金等	2,459,240 円	白馬村・長野県廃棄物処理技術研究協議会　他
その他　タイヤドーザー修繕　他	4,780,143 円	

予算額（円）	決算額（円）	財源内訳（円）			
		国県支出金	地方債	その他（し尿汲取手数料等）	一般財源
87,046,000	86,543,451			32,124,219	54,419,232

款	3. 衛生費	項	1. 清掃費	目	1. し尿処理費

事 業 名	整備補修事業	決算書の頁	P. 13-14

事業内容

1. し尿処理施設の整備補修

実績・成果

【成果】

し尿等下水道投入施設建設に伴うクリーンコスモ姫川（し尿処理施設）の廃止を見据えて、施設整備計画は、予防保全管理から事後保全管理に切り替え、最小限の整備を行う方針に基づき実施し、経費節減に努めている。

【実績】

受託業者；住友重機械エンバイロメント（株）

機械機器修繕業務 ・破砕機 2 台（浄化槽汚泥、し尿Ｂ）・第一反応槽曝気装置（001 号機・002 号機）・前処理設備整備・し尿用遠心除渣機整備・し尿中継ポンプ A 整備・浄化槽汚泥中継ポンプ A 整備・し尿投入ポンプ B 整備・浄化槽汚泥投入ポンプ整備・汚泥供給ポンプ B 整備・雑排水移送ポンプ B 整備・余剰汚泥ポンプ B 整備・接触槽サンプリングポンプ整備・膜原水ポンプ B 整備・膜循環ポンプ B 整備・凝集膜循環ポンプ B 整備・第一反応槽用苛性ソーダポンプ整備・貯留槽攪拌ブロワ B 整備・配管類修繕	42,900,000 円
機械機器点検整備業務 ・電気計装設備（水質分析計、残留塩素濃度計、インバータ）	8,910,000 円

受託業者；（有）イリク総業　他

スポットクーラーレンタル料	293,679 円

受託業者；（有）宮田電気商会

空調設備(エアコン設置)工事費	3,256,000 円

その他　　空冷チラーフロン排出抑制法法定点検・撤去　　他　　271,099 円

予算額（円）	決算額（円）	財源内訳（円）			
		国県支出金	地方債	その他（　）	一般財源
56,039,000	55,630,778				55,630,778

款	3. 衛生費	項	1. 清掃費	目	1. し尿処理費

事 業 名	収集運搬事業	決算書の頁	P. 13-14

事業内容

1. し尿の収集運搬
2. 手数料の徴収

実績・成果

【実績】

請負業者；（有）山田商会

汲取運搬委託料	14,417,719 円
手数料徴収委託料	4,243,993 円

（単位：kℓ）

区分＼年度		２年度	３年度	４年度	５年度	６年度	７年度
小谷村	生し尿	526	604	652	645	584	561
	浄化槽	503	606	809	887	826	876
	農集排	216	209	216	230	230	198
	計	1,245	1,419	1,677	1,762	1,640	1,635
白馬村	生し尿	887	826	917	1,074	1,078	1,006
	浄化槽	1,564	1,502	1,620	1,935	2,037	2,491
	計	2,451	2,328	2,537	3,009	3,115	3,497
合計		3,696	3,747	4,214	4,771	4,755	5,132
対前度年比		△16.1%	1.4%	12.5%	13.2%	△0.3%	7.9%

予算額（円）	決算額（円）	財源内訳（円）			
		国県支出金	地方債	その他（し尿投入料）	一般財源
18,662,000	18,661,712			6,896,208	11,765,504

款	3. 衛生費	項	1. 清掃費	目	1. し尿処理費

事 業 名	下水道投入施設整備事業	決算書の頁	P. 13-14

事業内容

1. 設計・施工一括発注工事（性能発注）の監理支援業務委託料に係る負担金
2. し尿等下水道投入施設整備業務に係る派遣職員負担金

実績・成果

【成果】

工事手法を設計・施工一括発注方式（性能発注方式）に変更し、契約締結方式を公募型プロポーザルにより発注したし尿等下水道投入施設建設工事の令和７年度は、関連する設計・施工監理支援業務を実施した。

また、し尿等下水道投入施設整備業務に係る人件費（70%）は白馬村下水道事業会計から支払われており、組合から派遣職員負担金として白馬村下水道事業会計へ支出した。

【実績】

白馬村下水道事業会計		財源内訳
設計・施工監理支援業務（一般財団法人日本環境衛生センター）	8,706,500 円	白馬山麓事務組合負担金 1,253,500 円 社会資本整備総合交付金（交付率 1/2）4,353,000 円 下水道事業債 3,100,000 円

白馬山麓事務組合一般会計		支払先
派遣職員負担金（70%）	5,686,310 円	白馬村下水道事業会計

※　し尿等下水道投入施設は下水道施設の位置付けにより、社会資本整備総合交付金交付対象の設計・施工監理支援業務は、白馬村下水道事業として実施した。

予算額（円）	決算額（円）	財源内訳（円）			
		国県支出金	地方債	その他（　）	一般財源
17,045,000	6,939,810				6,939,810

款	3. 衛生費	項	1. 清掃費	目	1. し尿処理費

事 業 名	下水道投入施設整備事業(繰越)	決算書の頁	P. 13-14

事業内容

令和 6 年度から令和 7 年度への繰越事業
1. 発注支援業務委託料と詳細設計業務委託料に係る負担金

実績・成果

【成果】

工事手法を設計・施工一括発注方式（性能発注方式）に変更し、契約締結方式を公募型プロポーザルにより発注したし尿等下水道投入施設建設工事に係る、発注支援業務の委託期間の延長（R6→R7 繰越）と、詳細設計（R6→R7 繰越）を行った。

【実績】

白馬村下水道事業会計		財源内訳
【R6→R7 繰越】 詳細設計（住友重機械エンバイロメント株式会社）	48,795,000 円	白馬山麓事務組合負担金 24,397,500 円 社会資本整備総合交付金（交付率 1/2） 24,397,500 円
【R6→R7 繰越】 発注支援業務（一般財団法人日本環境衛生センター）	6,930,000 円	白馬山麓事務組合負担金 3,465,000 円 社会資本整備総合交付金（交付率 1/2） 3,465,000 円

※ し尿等下水道投入施設は下水道施設の位置付けにより、社会資本整備総合交付金交付対象の詳細設計と発注支援業務は、白馬村下水道事業として実施した。
※ 工事手法の変更（土木工事 R7→R8）に伴い、その事業費の一部 69,094,000 円の単独分となる 1/2、34,547,000 円（下水道事業債 24,600,000 円、白馬山麓事務組合負担金 9,947,000 円）を令和 8 年度に繰り越した。（残額の 1/2 は社会資本整備総合交付金翌債繰越）

予算額（円）	決算額（円）	財源内訳（円）			
		国県支出金	地方債	その他（ ）	一般財源
27,863,000	27,862,500				27,862,500

款	4. 高校支援費	項	1. 高校支援費	目	1. 高校支援費

事 業 名	白馬高校支援事業	決算書の頁	P. 13-16

事業内容

1. 全国募集活動
2. 公営塾の運営
3. 学生寮の運営
4. その他支援事業

実績・成果

１．全国募集活動とキャリア教育に対する支援

【成果】

① グローバル講演会　10/16（木）　フジテレビ解説委員であるジャーナリスト、鈴木 款(すずき・まこと)氏を講師に迎え、協和ウイング白馬で開催。一般公開とした。

② 全国募集に伴うパンフレット等の作成

③ 全国募集活動は、東京で4回、大阪で1回、白馬高校で3回の説明会を実施したほか、関西地区(京都・大阪・兵庫)・の中学校 11 校を訪問した。

④ 令和３年度より参画している地域みらい留学では、全国 170 校の高校とともにオンライン説明会、対面合同説明会を実施。延べ 290 組の参加者に説明を行った。
令和７年度に入寮した生徒（第 10 期生）は 32 名（内県外生は 21 名)。全国募集開始以来、最大の入寮生徒数となった。国際観光科は募集定員である 40 名を満たし、普通科も 30 名の生徒が入学したことで、全校生徒数は 165 名に上昇した。
（R2：181 名、R3：163 名、R4：140 名、R5：136 名、R6：141 名、R7：165 名）

【実績】

(1)グローバル講演会負担金	239,393 円
(2)学校パンフレット、寮パンフレット	354,753 円
(3)全国募集旅費	697,700 円
(4)地域みらい留学負担金	1,595,000 円

２．公営塾「しろうま學舎」の運営

【成果】

① 講師４名により運営した。

② しろうま學舎の利用延べ人数（12 か月）は令和５年度 248 名、令和６年度 312 名、令和７年度 371 名であった。
３年生の利用延べ人数は、６年度は０名であったが、７年度は 62 名に上昇した。
英検等の資格取得、定期試験対策から大学試験対策まで、多様な生徒に幅広く学習機会の創出と学習支援を行っている。

【実績】

年度	利用延べ人数	塾生の主な合格大学・進学先
令和７年度	371 名	関西外国語大学、大東文化大学、帝京平成大学
令和６年度	312 名	―
令和５年度	248 名	立教大学、東洋大学

(1)講師人件費（塾長他１名）	5,939,366 円
(2)特進クラス委託料（ジャイロ受験対策塾）	6,400,000 円
(3)その他（教材・光熱水費・通信費）	938,887 円

実績・成果

3．学生寮「しろうま Pal House」の運営

舎監2名を中心に、寮管理業務スタッフが寮生の生活支援を行っている。

【実績】

年度	寮生数	内訳
令和７年度	64 名	県外 45 名、県内 19 名
令和６年度	41 名	県外 27 名、県内 14 名
令和５年度	26 名	県外 14 名、県内 12 名

(1)人件費（舎監２名）	8,263,668 円
(2)需用費（消耗品・燃料・電気・上下水道）	12,861,843 円
(3)修繕費（室外機ブラケット・漏水・ボイラー等）	2,454,474 円
(4)賄材料費	29,248,970 円
(5)寮管理業務委託料（給食業務含む）	59,620,000 円
(6)みなし寮委託料	5,622,000 円
(7)その他（通信運搬費、車両等リース料他）	4,549,961 円

公有財産購入関係(男子寮新館)　　単位:円

平成 30 年度から令和6年度分まで	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和 10 年度
130,342,464	18,620,352	18,620,352	18,620,352	0

4．その他支援事業

令和６年度に引き続き、白馬高校魅力化アドバイザリー業務として、白馬高生と白馬・小谷中生との合同イベントの企画運営を外部委託した。令和６年度は３日間の開催で延べ 22 名の中学生の参加があったが、今年度は２日間で３名の参加者に留まった。

イギリス、チェルトナムで 15 日間にわたって実施された語学研修に生徒 12 名が参加。

地元高校生、ホストファミリーとの交流を通じて、英語力の向上だけにとどまらず、失敗を恐れず自ら挑戦する姿勢が身に付いたと、生徒より報告を受けている。

(1)人件費（職員２名、会計年度任用職員２名）	17,691,611 円
(2)需用費（事務局消耗品等）	176,239 円
(3)役務費（通信運搬費、広告費、損害保険料）	801,021 円
(4)委託料（白馬高校魅力化アドバイザリー業務等）	1,346,438 円
(5)負担金補助及び交付金 （語学研修補助・各種検定料補助）	3,388,275 円
(6)その他（新規職員 PC・公用車リース等）	1,135,893 円

予算額（円）	決算額（円）	財源内訳（円）			
		国県支出金	地方債	その他（塾･寮使用料等）	一般財源
183,014,000	181,945,844	61,035,689	0	47,392,181	73,517,974

款	5. 公債費	項	1. 公債費	目	1. 元金 2. 利子

事 業 名	公債元金事業、公債利子事業	決算書の頁	P. 15-16

事業内容

1. 平成２６年度発生神城断層地震災害復旧工事に係る起債

実績・成果

1. 平成２６年度発生神城断層地震災害復旧工事に係る起債

【実績】

	元　　金	利　　子
平成 27 年度分	1,442,535 円	1,083 円

起債年次償還調書

		5 年度	6 年度	7 年度
クリーンコスモ姫川 災害復旧工事 平成 27 年度 （単独過年） 11,500 千円	元金	1,439,654 円	1,441,094 円	1,442,535 円
	利子	3,964 円	2,524 円	1,083 円
クリーンコスモ姫川 災害復旧工事 平成 26 年度 （単独現年） 4,500 千円	元金	566,718 円	568,420 円	－
	利子	2,980 円	1,278 円	－
合計		2,013,316 円	2,013,316 円	1,443,618 円
年度末償還元金		3,452,049 円	1,442,535 円	0 円

予算額（円）	決算額（円）	財源内訳（円）			
		国県支出金	地方債	その他（　　）	一般財源
1,445,000	1,443,618				1,443,618